

第38回 盛岡市植樹祭

～新規採用職員として参加して～

平成26年10月4日（土）、外山森林公園にて盛岡市主催による「第38回盛岡市植樹祭」が行われました。参加者は250名程度で、盛岡農業高等学校の生徒や林業関係者、その他家族での参加などさまざまな顔ぶれの中での植樹祭となりました。



指導を受けながらの慣れない植樹作業

開会式では主催者の玉山区長、来賓の市議会議長などの挨拶が続いたあと、盛岡農業高等学校の生徒による植樹の実演指導も行われました。さすが実業高校の生徒、唐鍬で地面を掘ったり苗を植えたりする姿は様になっていました。

今回植樹したのはカラマツのコンテナ苗1,200本。唐鍬の扱いに慣れていない私は、終始まわりからへっぴり腰と声をかけられながらも、苗を5本ほど植えました。普段見ている立派な木々からは想像で

きないくらいフチャフチャとした若い苗木に、誰もが思わず「これから先何十年、元気に育ちますように」と想いをこめたのではないのでしょうか。

その他にも植樹終了後、（有）二和木材による高性能林業機械ハーベスタでの間伐・玉切りの実演も行われ、普段見ることのない迫力ある光景に、植樹祭に参加した方々や特に小さな子供や女性も見入っていました。十数メートルもある1本の木はあっという間に切り倒され丸太へと姿を変え、あちこちから「おお～！」という感嘆の声が聞こえてきました。



（有）二和木材によるハーベスタ作業実演

「森林管理署職員」として初めて今回の植樹祭に参加し、木そのものや林業への関心が高まりました。自らの手で植樹したり、実際の間伐作業を目の当たりにし、私たちの生活に欠かせない「木材」も、長い年月と人の手入れを要するものだということを実感しました。今後もこのような活動に積極的に参加し、森林・林業への理解を深め、業務に役立てていきたいと思えます。

盛岡森林管理署一般職員 荒川もも